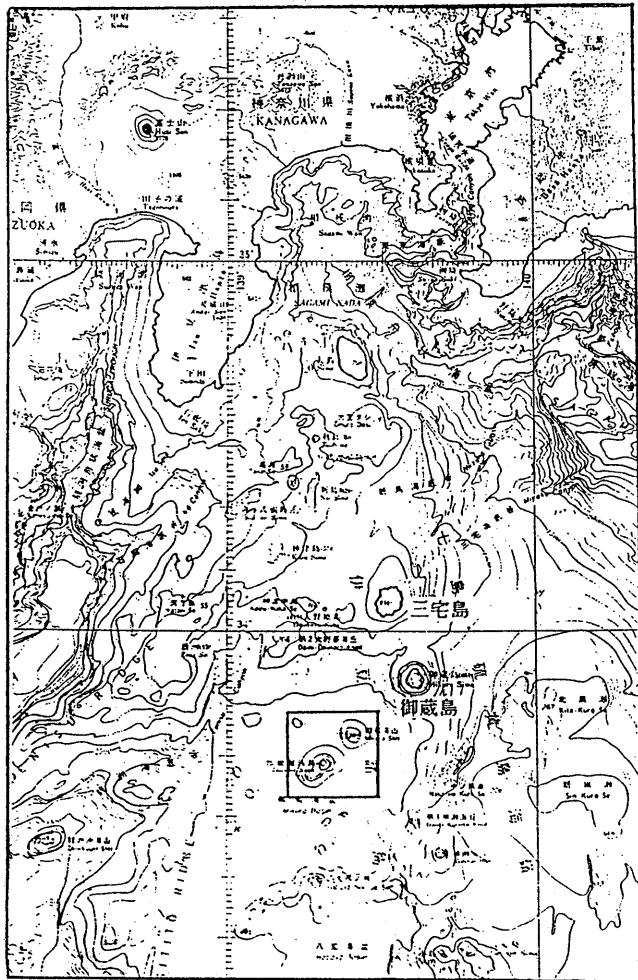


# 御蔵海山付近の調査について\*

海上保安庁水路部

水路部は、平成3年8月に御蔵海山付近の海底調査を行った。

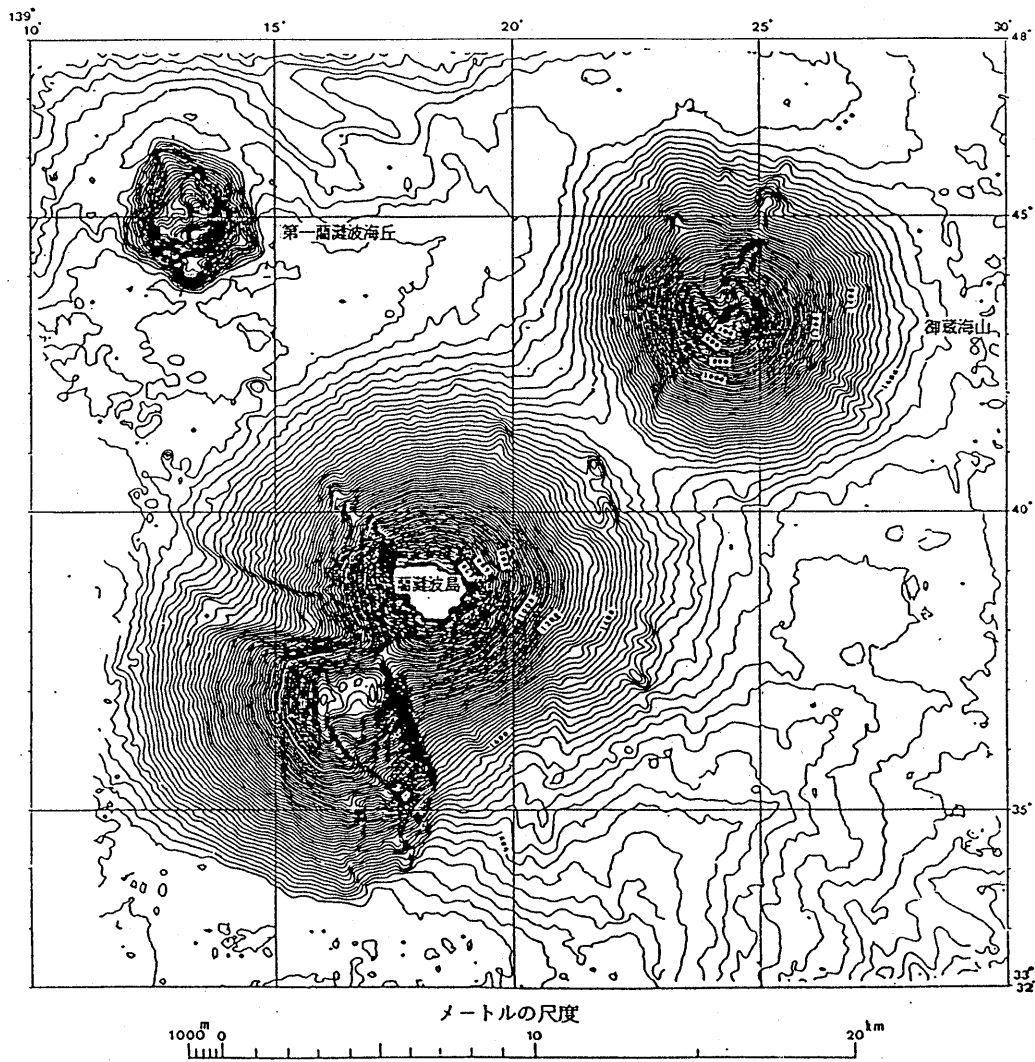
調査期間	平成3年8月
調査船	測量船「明洋」550総トン
海上測位	GPS
音響測深	ナローマルチビーム測深機(シービーム2000)
地磁気	曳航式プロトン磁力計
重力	海上重力計(KSS-30)
音波探査	深海音波探査機(エアガン)



第1図 調査位置図

Fig. 1 Survey area

\* Received 20 Dec., 1991



第 2 図 御蔵海山海底地形図

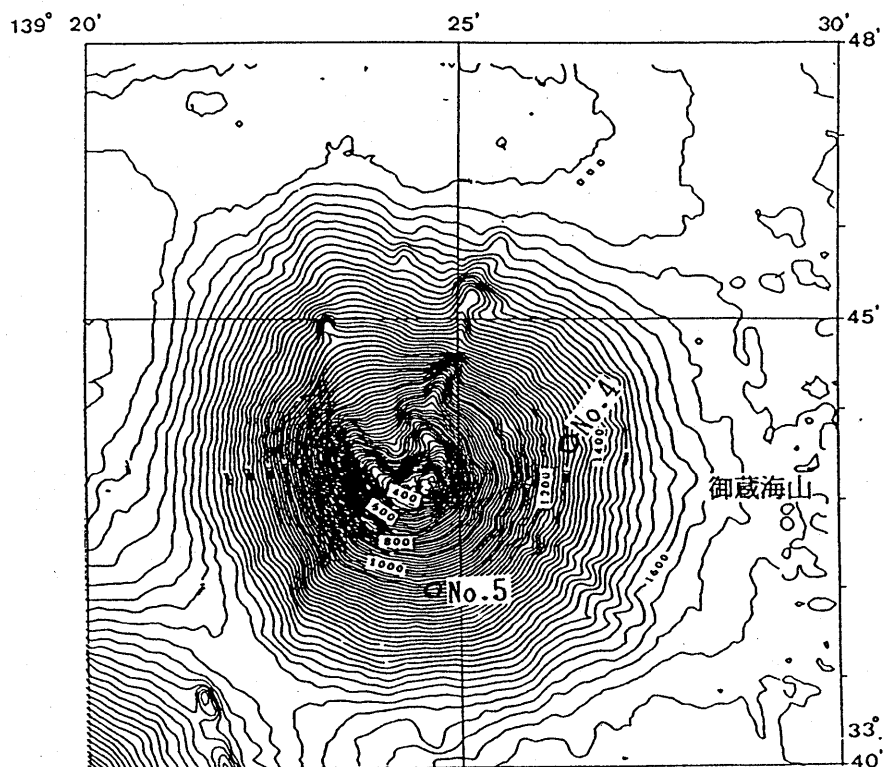
Fig. 2 Bathymetric Chart of Mikura Sea Mount

## 御蔵海山より採取された火山岩の顕微鏡観察結果

試料No. 4	ホルンブレンド-斜方輝石-安山岩
斑晶	ホルンブレンド, オージェイト, 斜方輝石, 斜長石
試料No. 5	オージェイト-かんらん石-玄武岩
斑晶	かんらん石, オージェイト, 斜方輝石, 斜長石

御蔵海山のドレッジ地点4より採取された火山岩は、斑晶がホルンブレンド、オージェイト、斜方輝石、斜長石からなる安山岩である。ホルンブレンドと斜長石の斑晶は長辺が2~3mmと大きく、組成的にはデイサイトに近いものかもしれない。

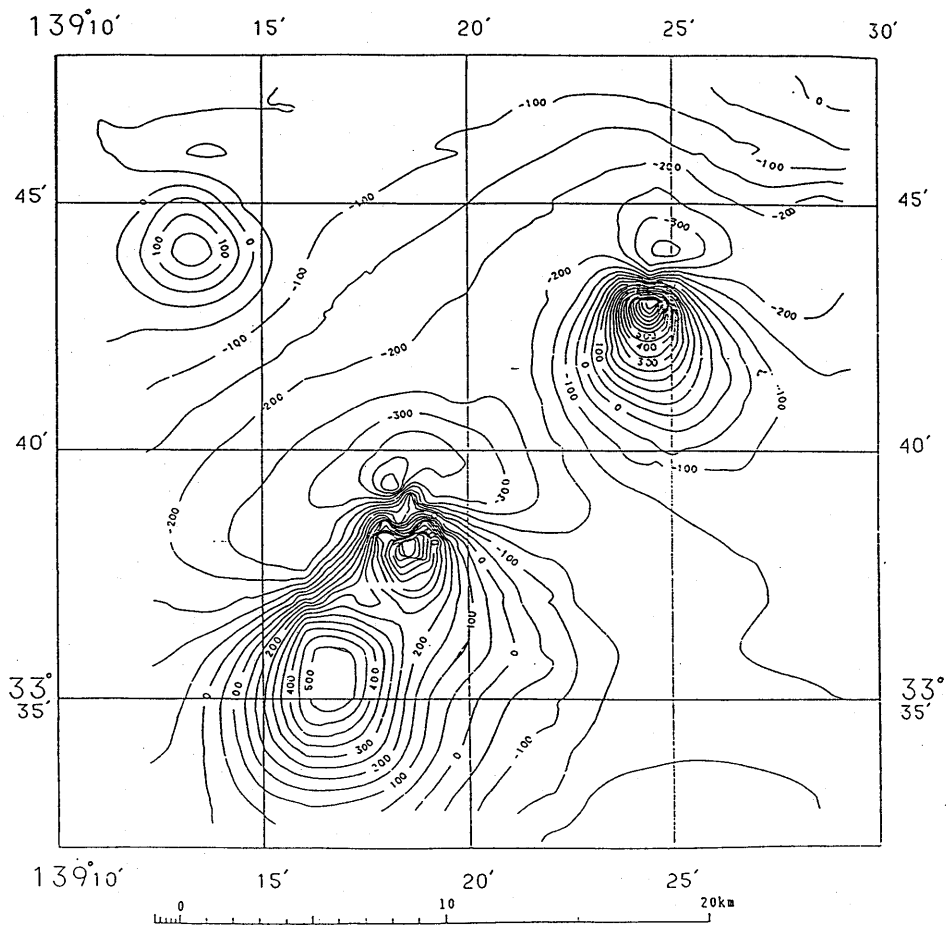
ドレッジ地点5より採取された火山岩は、斑晶がかんらん石、オージェイト、斜方輝石、斜長石からなる玄武岩であり、少量ではあるがマフィックな捕獲岩を含んでいる。両試料ともどの系列に属する岩石であるのかは、全岩組成分析を行い明らかにする必要がある。



第3図 採取位置図

Fig. 3 Sampling location

平成3年8月測量  
標準磁場モデル：IGRF 1985  
等値線間隔：50 nT



第4図 御蔵海山付近地磁気全磁力異常図  
Fig. 4 Geomagnetic anomaly map around  
Mikura Sea Mount

平成3年8月測量

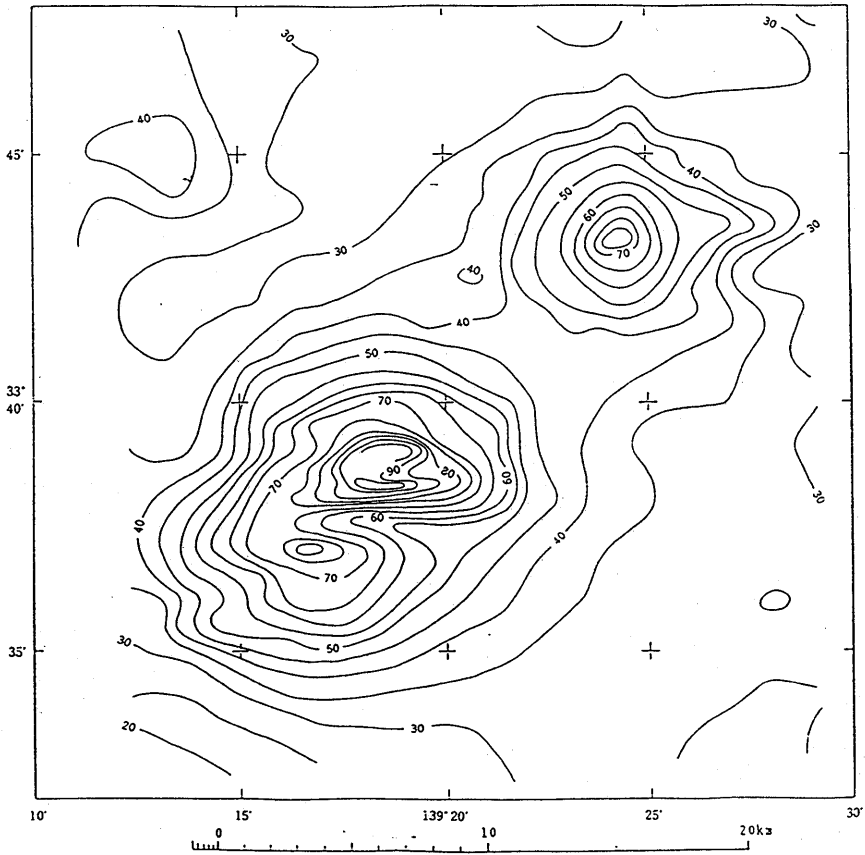
重力異常標準 { 1967年測地基準系  
JGSM 75

重力計: KSS-30

等値線間隔: 5 mGal

重力基準港: 東京専用棧橋

重力基準値:  $G_0 = 979770.36 \text{ mGal}$



第5図 御蔵海山付近フリーエア重力異常図  
Fig. 5 Free-air Gravity anomaly map  
around Mikura Sea Mount